



みんなで考えよう！みんなでそなえよう！自ら命をまもるため。

# 手づくりハザードマップ作成手引き（参加者用）vol.2 ONLINE

1日目（勉強会・まち歩き準備）

2日目（マップ仕上げ・カード作成）

手づくりハザードマップ作成の本日のなごりです。

## ■手づくりハザードマップの作成の目的

手づくりハザードマップは、地域のみならず、お住まいの地域の水害の危険性について“気づき”正しく“理解”し、いざというときに的確な“判断”ができるように取り組む過程によって、個々の力となるとともに、地域コミュニティの活性化を図るものです。

まず半日集まって勉強会を行い、各自でまち歩きを行い、最後に半日集まってマップづくりを行います。

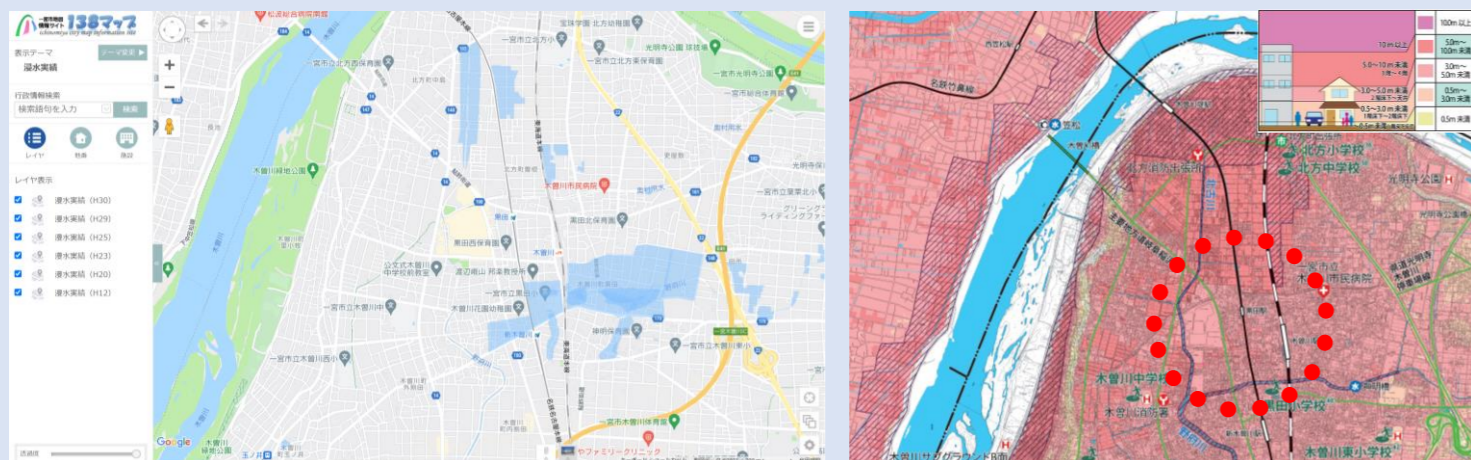
## ★これまでの活動履歴。

1日目 みんなで

STEP1 地域で起こり得る水害について知ろう！

## ●水害ハザードマップに対する理解を深め、過去の水害などから勉強しましょう。

★住んでいる地域の近くで流れる川がはんだ際の、予測される最大の水深や地域の避難所などが分かります。



1か月 それぞれ

STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

## ●3D水害ハザードマップを見て、浸水の状況を具体的にイメージしよう。



ダウンロード、確認方法はここから。スマホでもできます！



## ●まち歩きでの確認・発見を、撮影して投稿しよう。

★まち歩きで確認した・発見したこと、普段から気になっていること、昔からの言い伝えなど、投稿しました。

まとめサイトはこちら。



危険な場所などを撮影して投稿！スマホを設定して、まち歩きしよう！

1. 作業前に、手づくりハザードマップで、なに？
2. まち歩きで確認・発見したことを撮影して投稿！
3. まち歩き行って、危険な場所などを撮影しよう！
4. 撮影した写真を投稿しよう！

2日目 みんなで

STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

ワークショップ（約40分）



### A 手づくりハザードマップの記載内容の確認

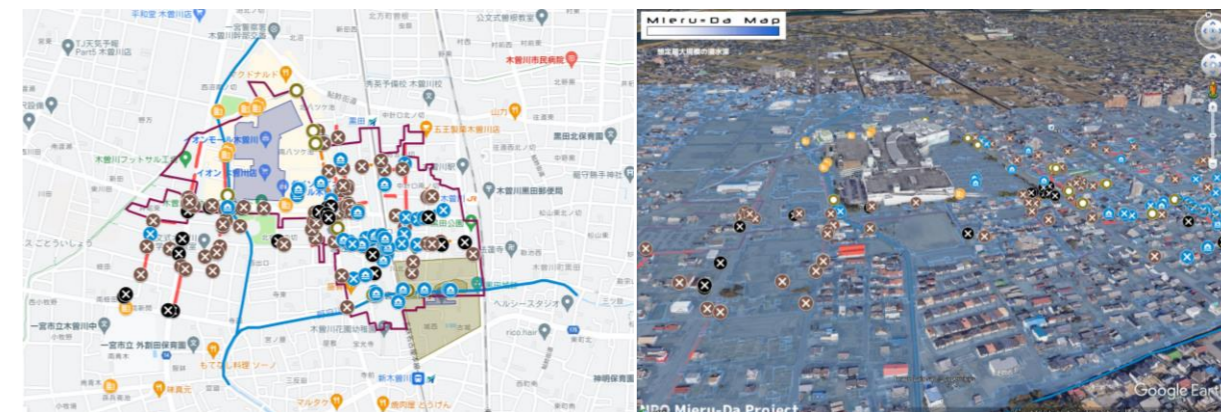
...5分

★みんなが撮影したデータ、マップをみんなで確認します。

### B 地図にコメントの確認（ふりかえり）

...15分

★みんなが撮影時にコメントデータをみんなで確認します。



### C 作業結果の発表会（2人、事前選出）

...10分

★東小路、中小路で決めた発表者ごとに発表会を開催し、地域で情報共有します。

### D 手づくりハザードマップの活用方法の話し合い

...10分

★各戸に配布したり、地域の寄り合い所に貼り出したりと、手づくりハザードマップを地域で活用する方法について、町内会から報告します。東小路、中小路で1人ずつ発表。

### E 勉強会「過去の水害事例」 ※一宮さんが説明。

...20分

★平成27年9月の関東・東北豪雨の鬼怒川決壊、平成21年8月の台風9号に伴う兵庫県佐用町の被害などから、事前に避難のタイミングを考えておくことの重要性を学びます。

### F 勉強会「災害避難カードの作成に向けて」

...10分

★自宅の水害危険性を知り、避難の必要性を理解するとともに、いつ避難を開始すれば良いか、雨量・雨域と河川水位情報の関係、水位観測所の位置や確認方法、水位情報と避難情報の関連、みずプロメールなどについて学習することを通じて、一人ひとりが考えます。

### G カード記入

...15分

★勉強会で学んだことを基に、一人ひとりで災害避難カードに記入をします。

### H 意見交換

...15分

★これまでの2日間のワークショップをふまえ、大雨のときにどんな行動をすればよいか、避難のタイミングはどうしたらよいかなど、自分や地域が取るべき行動を改めて考えます。

意見交換（約30分）



## ■最後に

本日までの手づくりハザードマップ作成、本当にお疲れさまでした！手づくりハザードマップに関するアンケートに、是非ご協力ください。

大雨洪水 災害避難カード

住所	自宅の住所（ ）	避難先（ ）
避難先の名前と住所	避難先（ ）	
自宅周辺の地形から見た洪水浸水深度	高い・やや高い・低い・なし	
避難経路から見た洪水の危険度	高い・やや高い・低い・なし	
（避難経路上で水たまりに注意する箇所）		
川の氾濫による洪水の危険度	高い・やや高い・低い・なし	
洪水発生時の避難経路	高い・やや高い・低い・なし	
大雨のときに確認する気象情報	気象情報は、	で確認する

最近の川の決壊が懸念される時に、見るべき観測所と避難行動の目安となる水位について

河川名	川	川
水位観測所名	川	川
決壊による自宅の浸水深	m	m
警戒水位	m	m
避難判断水位	m	m
危険水位	m	m
危険判断水位	m	m
観測所の水位	m	m

（水害の影響方法）  
NHK、NHK、NHKの2局から利用可能です。  
WE 目 避難先・国土交通省の「川の危険情報」から利用可能です。「川の危険情報」で検索  
メールサービス 避難先や市町村独自のメールサービスを利用ください。  
ライブカメラ 「川の危険情報」にて「」のボタンをクリックすることで確認することができます。  
「川の危険情報」にて「」のボタンをクリックすることで確認することができます。

■大雨の時に見るべき雨量観測所について  
○家の近くの雨量観測所（ ）  
○家の周囲に十分な雨量観測所がない場合は、避難先にも設置してください。  
○気象庁の「大雨注意報」は時間雨量 20~30mm が基準となっており、降水量や土砂災害の恐れがあります。

■大雨の時に見るべき気象情報について（リアルタイムの雨量レーダー）  
○川の氾濫では水の上昇が非常に速いことがあるので、雨量の状況、テレビのリアルタイム放送（dボタン）、Webページ（気象庁、国土交通省、気象庁など）、スマートフォンアプリなどで確認しましょう。

■避難行動の留意点  
大雨の時に避難先に向かう場合は、避難先に向かう際の安全なルートを確認してください。避難先に向かう際は、避難先に向かう際の安全なルートを確認してください。避難先に向かう際は、避難先に向かう際の安全なルートを確認してください。



みんなで考えよう！みんなでそなえよう！自ら命をまもるため。

# 2日目の手順を詳しく見てみよう！

1日目（勉強会・まち歩き準備）

2日目（マップ仕上げ・カード作成）

## 災害避難カード

### 2月19日 2日目のワークショップの流れです。

#### 2日目 みんなで

#### STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

##### A 手づくりハザードマップの記載内容の確認

★みんなが撮影したデータ、マップをみんなで確認します。

##### B 地図にコメントの確認（ふりかえり）

★みんなが撮影時にコメントデータをみんなで確認します。

##### C 作業結果の発表会（2人、事前選出）

★東小路、中小路で決めた発表者ごとに発表会を開催し、地域で情報共有します。

特設サイトの2D、3Dマップをみんなで確認します。みんなが投稿した内容の位一部を紹介します。



代表者を2名（東小路、中小路で1名ずつ）選び、マップから読み取れることを発表してもらいます。



##### D 手づくりハザードマップの活用方法の話し合い

★各戸に配布したり、地域の寄り合い所に貼り出したりと、手づくりハザードマップを地域で活用する方法について、町内会から報告します。東小路、中小路で1人ずつ発表。

隣同士で話し合しましょう。後でアンケートに答えるため、メモを。

##### E 勉強会「過去の水害事例」 ※一宮市さんが説明。

★平成27年9月の関東・東北豪雨の鬼怒川決壊、平成21年8月の台風9号に伴う兵庫県佐用町の被害などから、事前に避難のタイミングを考えておくことの重要性を学びます。

##### F 勉強会「災害避難カードの作成に向けて」 ※一宮市さんが説明。

★自宅の水害危険性を知り、避難の必要性を理解するとともに、いつ避難を開始すれば良いか、雨量・雨域と河川水位情報の関係、水位観測所の位置や確認方法、水位情報と避難情報の関連、みずプロメールなどについて学習することを通じて、一人ひとりが考えます。



##### G カード記入

★勉強会で学んだことを基に、一人ひとりで災害避難カード作成フォームをします。

##### H 意見交換

★これまでの2日間のワークショップをふまえ、大雨のときにどんな行動をすればよいか、避難のタイミングはどうしたらよいかなど、自分や地域が取るべき行動を改めて考えます。

隣同士で話し合しましょう。メモをしながら。



##### I さいごに

自治会長からの挨拶をもって、手づくりハザードマップのワークショップは終了！最後に、スマホでアンケートに答えて終わりとなります。

#### 1か月 それぞれ

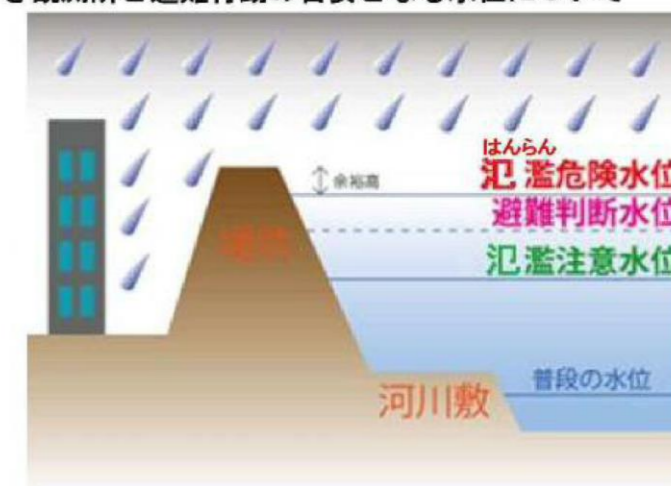
#### STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

住所		作成者	
階数・構造	自宅の階数（ ）階建 木造・コンクリート造・（ ）		
避難所の名称と住所	名称（ ） 住所（ ）		
自宅周辺地形から見た浸水危険度	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし		
避難経路から見た洪水の危険度 （避難経路上で水たまりになりやすい箇所）	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし ( )		
川の決壊による洪水の危険度	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし		
洪水時家屋倒壊危険地域*	内 ・ 外		
大雨のときに確認する気象情報	気象情報は、		で確認する

※洪水時に家屋倒壊等のおそれがある区域（想定最大規模（L2）の浸水想定区域図等で確認）

#### ■近くの川の決壊が懸念される時に、見るべき観測所と避難行動の目安となる水位について

河川名	木曽川	木曽川
水位観測所名	犬山	笠松
決壊による自宅の浸水深	m	m
はんらん 氾濫危険水位	12.20 m	13.60 m
避難判断水位	11.60 m	13.40 m
はんらん 氾濫注意水位	9.20 m	10.40 m
消防待機水位	5.80 m	7.60 m



※木曽川の普段の水位を出すことが困難（出水気・濁水期で水位が異なるなど）であるため、代表として「水防団待機水位」の数値を記載（水位の取得方法）

テレビdボタン	NHK、メーテレの2局から利用可能です
WEB	愛知県・国土交通省の「川の防災情報」から利用可能です。“川の防災情報”で検索
メールサービス	愛知県や市町村独自のメールサービスを利用ください ※あんしん・防災ねっと
ライブカメラ	国土交通省 「川の防災情報」にて「 <u>犬山</u> 付近」のカメラ画像をみることができます 国土交通省 「川の防災情報」にて「 <u>笠松</u> 付近」のカメラ画像をみることができます

#### ■大雨の時に見るべき雨量観測所について

○家の近くの雨量観測所 ⇒（木曽川消防署）

※家の周辺だけでなく上流部の雨量にも注意してください。

○気象庁の「大雨注意報」は時間雨量 20～30mm が基準となっており、浸水や土砂災害の恐れがあります。

#### ■大雨の時に見るべき気象情報について（リアルタイムの雨雲レーダー）

○川の上流部では水位の上昇が非常に速いことがあるので、雨雲の状況を、テレビのデジタル放送（dボタン）、Web ページ（気象庁、国土交通省、愛知県など）、スマートフォンのアプリなどで確認しましょう。

#### ■避難行動の留意点

- ☑周りで浸水が始まっている場合や逃げ遅れた場合は、無理に避難せず2階等の安全な場所へ移動してください。
- ☑堤防近くにお住まいの方は、堤防が壊れた場合に家屋が倒壊する可能性もありますので早めの避難が必要です。（メモ）